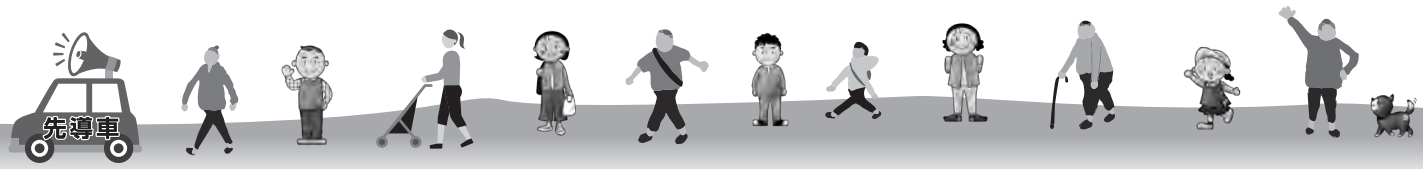
核兵器廃絶を訴えるための
ピースリレー2025 のメッセージです。

私たちは、おおさかパルコープの組合員です。「平和の尊さ」「核兵器廃絶」「平和について考えることの大切さ」を広く社会に訴え、より多くの人と共に行動できる機会として、1970年代から平和を願って歩いています。

今から80年前、広島・長崎に落とされた原子爆弾によって、街は一瞬にして破壊され、たくさんの尊い命が奪われました。そして、生き残った人々も、生涯にわたり苦しみや不安を抱えることになりました。
核兵器は極めて非人道的な兵器であり、人類とは共存できない、共存させてはならない絶対悪です。存在するだけで危険なのに、地球上にはまだ一万二千発あまりの核兵器が存在しています。
ロシアによるウクライナ侵攻と中東地域の紛争は長期化し、世界的に平和の危機が広がっています。その中で核兵器が使用されないという保障はどこにもありません。人類を脅かす危機は去るどころか、より高まっています。

そうした中で、昨年、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞しました。「人類は私たちの犠牲と苦難を繰り返してはなりません」と強く訴え続けてきた草の根の活動が認められたのです。
核兵器を使わない、使わせないという「核のタブー」が揺らぎつつある今、私たちにもできることがあるはずです。
核兵器を持つことで抑止力にするのではなく、被爆の実相を知り、自分事として被爆者の声を語り継ぎ、思いをつないでいくことこそが強い抑止力になるのではないでしょうか？

さあ、核兵器をなくしていくためにはどうしたらいいのか、世界中のみなさんで話し合いましょう。
平和に暮らせる幸せ、戦争の悲惨さ、争うことの悲しさ愚かさを子ども達に伝え、青い空と希望にあふれる平和な未来を手渡しましょう。
日本は唯一の戦争被爆国です。政府に核兵器禁止条約への参加を求めていきましょう。
人類が核兵器で自滅することのないように、そして、核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう!!
身近な人たち、そして日本、世界中の人たちと手をつなぎ、共に歩んでいきましょう。



※行進時に、沿道の人々に向けてアピールする予定です。